

2019年10月31日

報道関係各位



— PRESS RELEASE —

管路スクリーニング専用機

KPRO 調査累計 1,000km 突破！

管清工業は、管路スクリーニングを推進し、
市民の皆様に下水道管路施設の安全と安心をお届けします。

管清工業株式会社（代表取締役：長谷川 健司、住所：東京都世田谷区上用賀 1-7-3、以下「管清工業」）では、この度管路スクリーニング用テレビカメラ「KPRO（ケープロ）」の累計調査延長が 1,000km（41 都市）を突破しました。

全国に埋設される 47 万 km にのぼる膨大な管路ストックの老朽化が進行しています。一方、下水道を管理する地方公共団体は、厳しい予算、組織の制約を抱えており、年間管内調査延長は 4,000km 程度に過ぎません。このため、平成 26 年度に公表された B-DASH プロジェクトによる「スクリーニング調査を核とした管渠マネジメントシステム技術導入ガイドライン（案）」、平成 27 年の下水道法改正による管路施設の点検が義務化を契機に、管路スクリーニング（異常のある管路の絞り込み）の導入が全国的に急速に進んでいます。

KPRO とは、管清工業が 2013 年（平成 25 年）に製品化した、管路スクリーニング用テレビカメラ「KPRO（ケープロ）」であり、2018 年度には国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」（アセットマネジメント部門）を受賞しました。

管路スクリーニング専用機として開発された、管内点検用の自走式テレビカメラであり、上下流のマンホール間を一旦停止することなくスピーディーに走行し、致命傷となる大きな異常をハイビジョン画像で発見します。日進量は、従来の自走式テレビカメラの倍以上となる標準 800m/日であり、現地の状況次第では、1,500～1,800m/日（実績値）も可能です。

管清工業では、限られた予算で、全管路のおおよその健全状態を迅速に把握できる KPRO を最大限活用し、引き続き、管路スクリーニングを推進し、市民の皆様に下水道管路施設の安全と安心をお届けします。

■問い合わせ先

管清工業株式会社 管理本部広報課 担当：越智（おち）、川島
電話 03-5730-2884、pr-kansei@kansei-pipe.co.jp

KPROの仕様			
	対象管径	走行速度	走行時重量
Sタイプ	φ150~200mm	13m/min	4.0kg
Mタイプ	φ250~300mm	13m/min	6.9kg
Lタイプ	φ350mm~	13m/min	15.9kg
カメラの仕様			
解像度	1920×1080(フルHD)		
画素数	約1680万画素		
画角	170°		
保護性能	防水・防塵性あり		



KPROによる異常箇所映像



陶管の破損



ヒューム管の破損、浸入水



大きな異常をもれなく発見したいなら、軽快で安価な、「KPRO」で決まり！